

北アルプス日本海広域観光連携会議 第4回広域観光連携専門委員会

平成31年2月13日
糸魚川市民図書館3階会議室

1 開会

2 報告

- (1) 大糸線キハ52限定ストラッププレゼントキャンペーンについて・・・ 資料1

3 審議事項

- (1) 訪日プロモーション地方連携事業の取り組みについて・・・・・・ 資料2
(2) 輸行バックの取り組みについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料3
(3) 平成30年度決算（見込み）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料4
(4) 平成31年度事業計画、予算（案）について・・・・・・・・・・・・・・・・ 資料5
(5) 今後のスケジュールについて

3/26（火） 幹事会（14：00～糸魚川市民会館3階会議室）

5/15（火） 総会（16：00～ヒスイ王国館）

4 その他

第3回広域観光連携専門委員会 出席者名簿

区 分	団体名	所属	職名	氏名	出欠	備考	
専門委員	上越市	産業観光部観光振興課	主事	丸田 歩	○		
	大町市	産業観光部観光課	主査	伊藤 正明	○		
	白馬村	観光課	観光係長	長澤 肇			
	小谷村	観光振興課観光商工係	観光商工係長	中村 洋隆			
	朝日町	商工観光課		主幹	折谷 政明	○	
					山崎 渉	○	
	新潟県糸魚川地域振興局	企画振興部地域振興課	地域振興専門員	小野 仁司	○		
	長野県北アルプス地域振興局	商工観光課	課長補佐	峯村 高広	○		
		企画振興課	主査	片瀬 雅崇	○		
	糸魚川市観光協会			事務局長	佐々木 繁雄	○	
				事務局員	後藤 陽子	○	
	上越観光コンベンション協会			営業係長	福島 大		
	大町市観光協会			専務理事	小松 令子	○	
	白馬村観光局			事務局長	福島 洋次郎		
				事務局次長	佐藤 裕二	○	
	白馬商工会			経営支援員	横川 敦		
小谷村観光連盟			事務局長	菊原 昭一			
小谷村商工会			総務主幹	中村 豊	○		
朝日町観光協会			事務局長代理	鍛冶 正弘	○		
事務局	糸魚川市	産業部商工観光課	課長補佐	山本 喜八郎	○		
			主査	中村 真義	○		

■ 鉄道魅力発信事業(8月16日～11月30日)

資料 1

・鉄道ストラップ配布状況

No.	ストラップ駅名	個数	配布数	各駅残数
1	泊駅	200	200	0
2	糸魚川駅	400	400	0
3	直江津駅	400	389	11
	計	1,000	989	11

JR大糸線・日本海ひすいライン・あいの風とやま線 輪行バック推進事業の取組 (案)

北アルプス日本海広域観光連携会議

提案の趣旨

この取組を推進することで、サイクリストへの利便性の向上とサイクルエリアの魅力の向上を図るとともに、さらには大糸線・日本海ひすいライン・あいの風とやま線の利用促進を図ることを目的とします。

現状と課題

- ・国道148号糸魚川～南小谷間、国道8号親不知～市振間はトンネルや洞門が連続するため、自転車走行は危険である。
- ・これまでカーゴトラック&トレインや、団体列車扱いのサイクルトレインの運行が行われているが、15日前までに予約が必要なことや最少催行人数の制限があり、利便性が良いとはいえない。
- ・海と山が繋がると、サイクリングエリアとしての魅力は各段に向上

対 応

大糸線・日本海ひすいライン・あいの風とやま線で、輪行を推進した取組を行う

取 組

- 輪行バッグのレンタル等
 - (気軽に輪行できるようにするための取組)
- 作業場所(自転車の解体・組み立てスペース)の設定
 - (通行人等、他の施設利用者の迷惑にならないようにするための取組)
- 輪行のPR
 - (より多くのサイクリストに日本海エリア・北アルプスエリアに訪れていただくための取組)

今後の検討項目

- レンタルについて
 - ・貸出・返却窓口の設置場所
 - ・料金等の設定(レンタル料金や保証金の有無。有の場合はその価格。)
 - ・バッグ等のレンタル用品の保管量が一方の窓口に偏ってしまった場合の対応
- 作業場所の設定
 - ・場所の確保
 - ・作業場所であることの表示
- レンタル・作業場所に共通
 - ・初期費用や運営費用の負担と、運営の方法
 - ・レンタル窓口や作業場所の管理者との調整(交渉)



平成30年度 収入支出決算見込み

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	151,153	160,020	8,867	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	2,009,847	2,009,847	0	
計	8,450,000	8,458,867	8,867	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,800,000	6,289,592	△ 1,993,408	
広告宣伝	100,000	0	△ 100,000	
広域旅行商品の販売促進	900,000	0	△ 900,000	
訪日プロモーション地方連携事業	3,900,000	4,000,000	100,000	訪日プロモーション地方連携事業
冬季シャトルバス運行事業	400,000	400,000	0	
鉄道魅力発信事業	1,300,000	1,078,288	△ 221,712	思い出のキハ52ストラップ
カーゴトラック&トレイン事業	1,000,000	128,304	△ 871,696	チラシ・ポスター作成
サイクルトレイン事業	0	483,000	483,000	輪行バック購入
ホームページ管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	415,000	385,691	29,309	
会議費	200,000	170,691	△ 29,309	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	235,000	0	△ 235,000	
予備費	235,000	0	△ 235,000	
計	8,450,000	6,675,283	△ 1,774,717	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。

収入8,458,867円 - 支出6,675,283円 = 差引1,783,584円 は次年度に繰り越す

資料No. 5

北アルプス日本海広域観光連携会議 平成31年度事業計画（案）

(単位：千円)

区分	事業名		事業費	事業別
広域観光PR	誘客宣伝	広域旅行商品の販売促進（継続）	300	5,600
		訪日プロモーション地方連携事業（拡充）	5,300	
	HP管理	ホームページ運営管理（継続）	200	200
			5,800	5,800
二次交通	二次交通	冬季シャトルバス運行事業（継続）	300	1,900
		鉄道魅力発信事業（拡充）	1,100	
		サイクルトレイン（拡充）	500	
			1,900	1,900

誘客宣伝

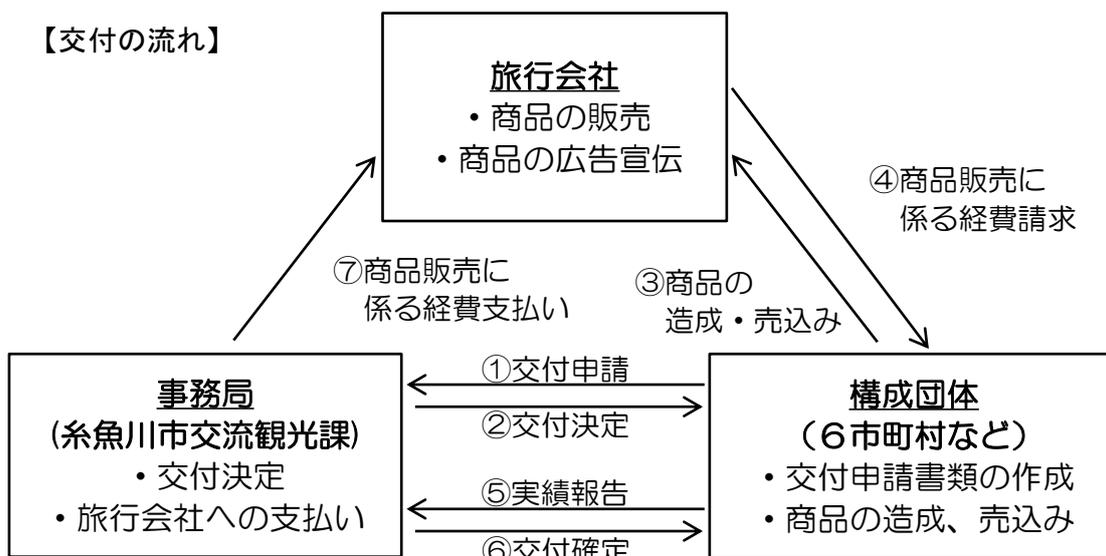
広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大並びに認知度向上を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成、または販売に係る費用を負担する。連携会議構成団体が自ら企画するツアー商品のほか、旅行会社が送客を促すための支援としても利用可
例：広告協賛金、ツアー代金への充当、バス代補助等
- (2) 2市町村以上を跨るコース設定を条件に広域エリアでの周遊を図る。



3 目標

エリアの認知度向上
 〃 への誘客拡大

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
商品開発・売込	→											

5 事業費（概算）

300,000 円 （50,000円×6市町村）

誘客宣伝

訪日プロモーション地方連携事業（拡充） （旧ビジット・ジャパン地方連携事業）

1 趣旨

平成28年度より実施した当事業により、各市町村でサイクルスポーツへの関心が高まり、環境整備へ向け動き出した。ターゲットである台湾からの照会も入ってきており、プロモーションを継続することで認知度の向上と誘客拡大を図ってきた。

平成31年度からは、サイクルスポーツを含むアウトドアアクティビティを活用し、さらなる広域観光の誘客を図っていききたい。

2 事業計画（案）

(1) 旅行会社招請（平成31年5・9月）

アウトドアアクティビティ専門の旅行社をエリア毎の見所の時期に招請し、今後のツアー商品造成に繋げる。5社5名招請予定

【行程案】 5泊6日

5・9月 富山きときと空港in⇒朝日町・ひすい探し体験⇒糸魚川市・塩の道祭り・ヒスイ峡⇒小谷村・塩の道祭り⇒白馬村・塩の道祭り・ジャンプ台⇒大町市・塩の道祭り・黒部ダム⇒上越市・うみがたり⇒富山きときと空港out

(2) メディア招請（平成31年10月）

アウトドアアクティビティ関連のメディアをエリア内で実施されるイベント等に招請。体験談をSNS等を通じて発信してもらう。

【行程案】 5泊6日

10月 富山きときと空港in⇒朝日町・バタバタ茶体験⇒大町市・黒部ダム・高瀬渓谷トレッキング⇒白馬村・マウンテンバイク体験⇒小谷村・ラフティング体験⇒上越市・うみがたり⇒久比岐自転車道⇒糸魚川市・マリンドリーム能生⇒富山きときと空港out

(3) 旅行博出展及びセールスコール（平成31年11月）

11月に開催される台北国際観光博覧会（TTE）に出展し、エンドユーザーに直接訴えかける。また訪台中、旅行会社やアクティビティ関連ショップを訪問し、認知度向上と誘客支援に結び付ける。

◇台北国際観光博覧会 2019年11月 日～ 日開催

◇台湾主要旅行会社 台北10社

(4) 印刷物制作

・エリア内の観光情報及びアクティビティ情報を掲載 10,000部作成
A4フルカラー、16ページ、中国語（繁）・英語2ヵ国語各5,000部

(5) 純広告

- ・インバウンドWebメディアでの記事広告発信

9・11月の2回出稿

1本あたり、繁体字1000～4000字

併せてFB等による記事拡散 8・10月頃台湾KOLにより取材を実施

3 目標

エリアの認知度向上

インバウンド受入環境整備

新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
旅行会社招請		→				→						
メディア招請							→					
旅行博出展・セールスコール								→				
印刷物	→	→	→	→	→							
純広告					→		→					

5 事業費（概算）

5,300,000 円

（国の負担予定額4,770,000円）

内 訳 （ 単 位 ： 千 円）	旅行会社招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	地方：航空券、国内移動費、通訳費、宿泊費等	1,490	1,490	2,980
	メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：現地移動費、通訳費 地方：宿泊費、航空券	745	745	1,490
	旅行博出展・セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：出展費、通訳費、現地移動費 地方：宿泊費、航空券	1,035	1,035	2,070
	印刷物	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：パンフレット製作費 地方：パンフレット製作費、翻	500	1,000	1,500
	純広告	国負担額	北ア負担額	総事業費
	国：記事広告 地方：記事広告	1,000	1,000	2,000
計	4,770	5,270	10,040	

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組を伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営、管理												→

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 1,200円/1h × 120時間 = 144,000円
- ・その他関連作業 6,000円/年

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客に、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 実施から4年目（H27年度～）となるシーフードシャトルバスの継続実施。継続することで認知度向上を図り、利用客へ日本海まで近いことを心理的に意識づける。

※平成27年度利用実績 100人(日本人客44人・外国人客56人)

※平成28年度利用実績 125人(日本人客87人・外国人客38人)

※平成29年度利用実績 140人(日本人客75人・外国人客65)

※平成30年度利用実績 140人(日本人客95人・外国人客45人 2月8日現在)

【H31年度の行程】

エコーランド(17:00) == 白馬東急ホテル(17:10) == 八方インフォメーションセンター(17:15) == 白馬山麓ツアーズ(17:20) == 南小谷駅(17:40) == 糸魚川駅(18:30~21:30) == 南小谷駅(22:25) == 白馬山麓ツアーズ(22:35) == 八方インフォメーションセンター(22:40) == 白馬東急ホテル(22:45) == エコーランド(22:55) ※マイクロバス27人乗り(基本) 糸魚川での滞在は3時間

(2) 事業運営は糸魚川シーフードシャトルバス事業実行委員会（糸魚川青年会議所内）。これまでの振り返りを行うなかで、より実績が上がるよう取組を強化する。



【課題】

- ・ 運行時間
- ・ 宣伝方法
- ・ 利用率向上の取組

3 目標

新たな観光ルートの構築
交流人口の拡大

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画・調整							→					
運行										→		

5 事業費（概算）

300,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（拡充）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

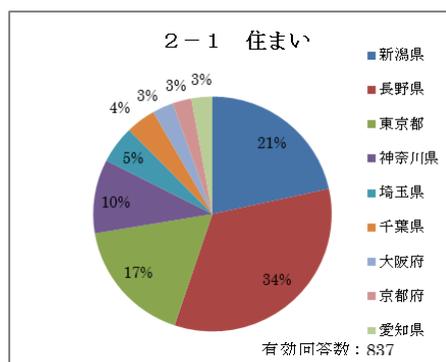
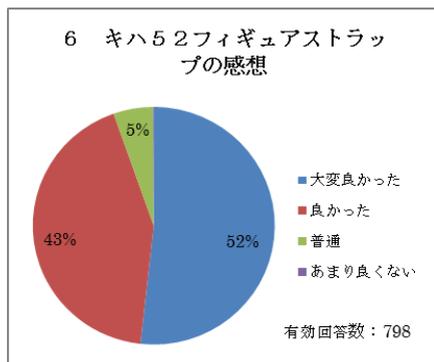
2 事業計画（案）

(1) 鉄道限定グッズの配布・キャンペーンの実施

- ・ H28・29年度は、糸魚川～信濃大町間の利用者増を図る取組を行った。
H30年度は、日本海ひすいライン、あいの風鉄道において、取組を行った。
H31年度は、北アルプス日本海エリア全線で実施を予定。
- ・ 大糸線、日本海ひすいライン、あいの風鉄道の主要な駅にスタンプ台を設置
- ・ ストラップに付属する駅名プレートは3種用意
(直江津駅・糸魚川駅・信濃大町駅・白馬駅・泊駅)

H31年度実施（案）
「キハ52・ET-122系ストラッププレゼントキャンペーン」
 ①期間:平成31年8月17日(土)～10月14日(月) ②個数:1,000個(各駅200個)
 ③内容:スタンプ押印済台紙と有効な乗車券の提示でストラップと交換

●H30年度実施データ



(2) 情報発信

- ・ 自治体広報、ホームページ掲載
- ・ 各駅にポスター掲出

3 目標

認知度向上・来訪意欲の創出

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ストラップ製作		→										
宣伝		→										
キャンペーン実施					→							

5 事業費（概算）

1,100,000円

二次交通

サイクルトレイン事業（拡充）

1 趣旨

自転車での移動に危険が伴う糸魚川～小谷間及び糸魚川～越中宮崎間を、輪行バックの貸出しを行うことで、サイクリストが事前予約なしで列車で移動できる環境整備を図り、日本海エリア・北アルプスエリアの相互移動及び大糸線の利用促進を図る。

サイクルトレインも併せて運行することにより、サイクリストへの利便性の向上と大糸線の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

(1) 実施時期

4月27日（土）～11月24日（日）まで（降雪期まで）

(2) 実施方法

- ・北アルプス日本海エリア内の主要駅（直江津駅、糸魚川駅、越中宮崎駅、南小谷駅、白馬駅、信濃大町駅）周辺の観光案内所等で輪行バックの貸出・返却の受付を行う。
- ・レンタル料金については、社会実験的な位置づけして実施するため、無料とする。
- ・バックが一方の窓口に偏った場合は、過不足が生じる箇所同士で調整する。
- ・輪行のPRを行い、利用増に努める。

(3) 検討事項

- ・レンタル場所の選定
- ・レンタル窓口との調整
- ・レンタル方法（申込書の記入・申請者の確認方法等）の調整
- ・作業場所の確保及び表示等

(4) 情報発信

- ・サイクル雑誌等に本取組を含めた取組を紹介
- ・サイクル団体等を招致→SNS等で情報の拡散

(5) その他

- ・社会実験的な位置づけ。実施体制の構築を含め、さらなる調整が必要

3 目標

- ・サイクリストが危険個所を安全に移動できる環境整備を行うことによる利用の増加
- ・JR大糸線、トキメキ鉄道・あいの風鉄道の利用促進

4 スケジュール

2019年度（平成31年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議・調整	→											
実施		→										

5 事業費（概算）

500,000 円

<内訳>

- ・情報発信料（雑誌掲載等） 200,000円
- ・バック購入等150,000円
- ・運行費補助 150,000円

平成31年度 収入支出予算(案)

【収入の部】

(単位：円)

科 目	H31予算額	H30予算額	比較増減	説 明
	6,289,000	6,289,000	0	
1. 負担金	4,000,000	4,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
2. 雑収入	160,000	151,153	8,847	総会交流会費、預金利息
3. 繰越金	1,780,000	2,009,847	△ 229,847	前年度繰越金(見込)
計	8,229,000	8,450,000	△ 221,000	

【支出の部】

科 目	H31予算額	H30予算額	比較増減	説 明
1. 事業費	7,800,000	7,800,000	0	
広告宣伝	100,000	100,000	0	広域マップ増刷
広域旅行商品の販売促進	300,000	900,000	△ 600,000	50千円×6団体
訪日プロモーション地方連携事業	5,300,000	3,900,000	1,400,000	旅行社招請、セールスコール、旅行博出展等
冬季シャトルバス運行事業	300,000	400,000	△ 100,000	シーフードシャトルバス
鉄道魅力発信事業	1,100,000	1,300,000	△ 200,000	大糸線ストラップ
サイクルトレイン事業	500,000	1,000,000	△ 500,000	J R 西大糸線提案事業
ホームページ運営管理	200,000	200,000	0	ホームページ管理
2. 連携会議運営費	395,000	415,000	△ 20,000	
会議費	180,000	200,000	△ 20,000	総会、交流会等
事務委託費	200,000	200,000	0	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	15,000	15,000	0	消耗品、事務通信費等
3. 予備費	34,000	235,000	△ 201,000	
予備費	34,000	235,000	△ 201,000	
計	8,229,000	8,450,000	△ 221,000	

事業計画、執行状況等に応じて、科目間の流用を行えるものとする。